

慶應義塾大学薬学部 生命機能物理学講座 特任助教の公募

以下の要領で、慶應義塾大学薬学部 生命機能物理学講座の特任助教 1 名を公募いたします。本公募は、国立研究開発法人日本医療研究開発機構の創薬支援推進事業（平成 27 年度～31 年度）による雇用となります。新たな学問領域を立ち上げ、発展させていく熱意のある方を募集致します。

記

1. 職位：特任助教
2. 研究内容：国内の大学及び製薬企業から集められた膨大な公的化合物ライブラリーを対象とし、構造非開示という機密性を担保しながら、化合物の多様性を評価するシステムを構築する。構造情報なしに集められたことによって均等なケミカルスペースを構築できていない、などの現在のライブラリーの問題点を洗い出し、次世代の創薬において求められるライブラリーの特性（生物活性的多様性、標的指向性、医薬品適正性）を有する高品質のライブラリーをデザインする新しい方法を開発する。さらに、リード化合物創成に繋がるコアライブラリーの抽出及び新規の創薬標的へ適応可能なライブラリーの設計を行う。これらを通じて、「ライブラリーデザイン学」という新たな学問領域を創成・発展させる。以上の研究は、当講座の特任准教授と協力して行う。
3. 応募資格：以下の（１）～（３）を満たす者
 - （１）着任時において博士の学位を有すること。
 - （２）*In silico* での生命科学研究あるいは創薬研究の経験のある者。ケモインフォマティクス、バイオインフォマティクス、計算化学手法、統計解析手法などを用いた研究を遂行できること。解析に必要なプログラミング技術を有していることが望ましい。また、海外の研究所との共同研究を行うのに必要な英語によるコミュニケーション能力を有していることが望ましい。
 - （３）講座スタッフと協力し、講座における研究に積極的に関わる意欲と資質を有すること。
4. 採用予定日：平成 29 年 4 月 1 日（予定） 採用決定後、できるだけ早期の着任が望ましい。
5. 任期：平成 32 年 3 月 31 日まで（延長・再任はありません）
6. 応募書類
 - ・ 履歴書（様式自由、写真貼付のこと）
 - ・ 業績目録（原著論文、総説、著書、知的所有権、学会での招待講演等を記載のこと：別紙参照）
 - ・ 代表的な研究論文の別刷（5 編まで）
 - ・ 照会先（2 名以上）

- ・ これまでの研究・教育の実績（2000 字程度）
 - ・ これからの研究・教育に対する抱負（2000 字程度）
 - ・ 外部資金の獲得状況（研究費の種類、代表と分担の別、研究課題、受領期間、金額等を記載）
7. 応募締切：平成 29 年 1 月 31 日（適任者が見つかり次第、締め切ります）
8. 選考方法：書類選考および面接（面接のために来学戴くことがあります。）
9. 書類提出先：〒105-8512 東京都港区芝公園 1-5-30 慶應義塾大学薬学部 総務課 特任教員公募係（「教員応募書類」と朱書の上、簡易書留等で郵送のこと）
10. 問合せ先：〒105-8512 東京都港区芝公園 1-5-30 慶應義塾大学薬学部 生命機能物理学講座 大澤 匡範 e-mail : osawa-ms@pha.keio.ac.jp Tel/Fax: 03-5400-2487
11. その他
- ・ 給与、待遇等は慶應義塾の諸規則によります。
 - ・ 応募書類は返却いたしませんのであらかじめご了承ください。また、個人情報については厳正に管理を行い、ご提出いただいた情報については本選考以外の目的で使用する一切ありません。
 - ・ 慶應義塾大学薬学部の詳細はホームページ <http://www.pha.keio.ac.jp/>をご覧ください。

以上

別紙

研究等業績目録（例）

1 原著

番号、著者 題目または論文名等 誌名、巻、初ページ－終ページ、年

2 総説

番号、著者 題目または論文名等 誌名、巻、初ページ－終ページ、年

3 その他の報文等（短報、コレスポンドンス等）

番号、著者 題目または報文名等 誌名、巻、初ページ－終ページ、年

4 著書

番号、著者 書名または論文名等 誌名、巻、初ページ－終ページ、年

5 学会等における招待講演、特許等

番号、講演者、申請者等 題目またはテーマ等 学会名、特許番号、年月日等

6 所属学会

番号、学会等団体の名称、活動内容と責務、期間等

7 その他各種奨励賞等の顕彰、外国留学など、特記すべき事項

*業績目録作成上の注意は裏面をご覧ください。

〔業績目録作成上の注意事項〕

1. 原著、総説、著書、その他に分けて、発表（発行）の新しい年月日順に記載し、その他の項目の最後には学位論文の論文題目を記載する。
2. 共著の場合は全員の氏名を記載し、応募者の氏名にアンダーラインを付ける。
3. 欧文論文は欧文で、和文論文は和文で記載する。
4. 印刷中のものは受理を証明する書類等のコピーがあればそれを付して記載する（投稿中のものは記載しない）。
5. 主要論文別刷として提出した 5 編には、○を付ける。
6. ワープロ等で作成・記入し、最下段中央にページ番号を付す。
7. 論文リストの形式については、必要事項が記入されていれば必ずしもこの書式と完全に一致しなくても構いません。

以上